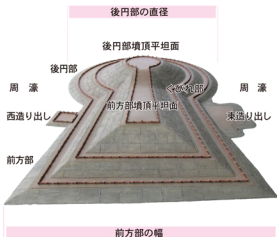


恵解山古墳の概要



アクセス

※公園に駐車場はありません。
公共交通機関をご利用ください。



- 史跡の名称 いげのやまこふん 恵解山古墳
- 史跡指定日 昭和56(1981)年10月13日
- 墳形 前方後円墳
- 古墳の規模
全長 約128m
後円部径 約78.6m
後円部高 推定10.4m
前方部幅 約78.6m
前方部先端高 推定7.6m
- 古墳指定範囲 19,495.995㎡
- 古墳構築時期 古墳時代中期(5世紀前半)
- 墳丘構築面標高 約16m
- 経緯度 北緯 34° 54' 52"
東経 135° 41' 52"
- 整備実施期間 平成23年度～平成26年度

Igenoyama Tumulus

発行日 平成26年10月26日
発行者 長岡京市教育委員会
〒617-8501 京都府長岡京市開田一丁目1番1号
電話 075-954-3557 / FAX075-954-8500

史跡

いげのやま

恵解山古墳

I GENOYAMA Tumulus Historical Site



長岡京市教育委員会



鉄鏃

5



鉄刀・鉄剣 鉄槍

(惠解山古墳出土の鉄製品は、平成11年3月に京都府指定有形文化財に指定されています。)

前方部の調査では、鉄製農具類もまもって出土しています。鉄製武器類埋納施設とは別の施設もあったかもしれません。



惠解山古墳公園



惠解山古墳は、古墳時代中期に築造された全長約128mの乙訓地域最大の前方後円墳です。桂川右岸の標高約16mの台地の縁に造られています。周囲には、幅約30mの周濠があり、周濠を含めた古墳の全長は約180mに達します。

古墳は3段に築かれ、斜面には砂岩やチャートなどの川原石が葺かれ、各段と頂部平坦面には埴輪が並べられていました。後円部には、死者を埋葬した竪穴式石室があったとみられます。刀剣などの鉄製武器約700点が納められた前方部中央の埋納施設は全国的にも珍しいものです。惠解山古墳は、その規模や構造から5世紀前半頃に桂川右岸の乙訓地域を治めた支配者の墓と考えられています。



1 公園の入口



2 造り出し
古墳の真側につくられたマツリの場



3 乙訓地域古墳群の模型



4 古墳のテラスや造り出しには約60本の埴輪が立ち並ぶ

4